

令和2年度

事業報告書



社会福祉法人 網走市社会福祉協議会

令和2年度網走市社会福祉協議会事業報告書

はじめに

当年度は、5年間の計画期間である「第6期地域福祉実践計画」の最終年でした。

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、本会の地域福祉事業においては多くの事業や会議等中止、縮小せざるを得ない状況でしたが、本実践計画に沿って、地域福祉への理解や意識を高め、地域住民や関係団体等と連携し、地域における多様な福祉活動を推進し、地域の福祉力を高めるよう努めてまいりました。

また、介護事業においては、老人デイサービスセンター等において、コロナ禍の影響もあって非常に厳しい運営状況となりました。

一方、生活福祉事業においては、コロナ禍の影響を受けて、生活に支障を来す方の相談が大幅に増加しました。また、北海道社会福祉協議会による新型コロナウイルス感染症の影響により休業等で収入が減少した世帯への貸付を受託し、多くの貸付を行ないました。

I. 地域福祉事業の推進

1. 第6期地域福祉実践計画の推進と評価

基本目標に掲げる福祉のまちづくりのために、この計画で取り組む市民の福祉課題と、課題を解決するための個別目標に基づき、実践項目について、その取り組み・目標を定めて、それぞれの年次計画を目途に関係機関と連携しながら検討、計画立案して取り組みを実施しました。

■進捗状況

項目	評価数	割合
完了	40	66.7%
着手中	3	5.0%
未実施	14	23.3%
未達成	3	5.0%

■効果

項目	評価数	割合
高	24	40.0%
中	17	28.3%
未実施	19	31.7%

2. 網走市地域福祉会議の開催

網走市における地域福祉推進を図るために、多様な関係機関の情報共有の場として、網走市地域福祉会議を開催しました。

■代表者会議

開催日時	◆第1回：令和2年8月31日（月）13：00～14：55 出席者：網走市4名、包括2名、民児連1名、町連3名、老連3名 生活支援コーディネーター1名、社協5名 ◆第2回：令和3年2月18日（木）10：00～ 出席者：網走市4名、包括2名、町連2名、老連4名 生活支援コーディネーター1名、社協5名
------	---

■事務担当者会議

開催日時	◆第1回：令和2年8月6日（木）10：00～11：30 出席者：網走市7名、包括2名、民事連1名、町連2名、老連1名 生活支援コーディネーター1名、社協2名 ◆第2回：令和3年2月8日（月）10：00～10：45 出席者：網走市5名、包括2名、民事連1名、町連2名、老連2名 生活支援コーディネーター1名、社協2名
------	--

3. 出前講座事業

地域住民の福祉への理解を推進していくため、社協職員等が地域へ出向き講話や体験学習に取り組みました。

事業実績	実施回数（依頼実績）32回／受講人数1,002名／延べ派遣職員数47名
------	-------------------------------------

※令和元年度実績 実施回数（依頼実績）54回／受講人数1,059名／延べ派遣職員数70名

4. 日常生活のちょこっとお手伝い事業

令和3年6月1日の事業開始を目標とし、日常生活を営むのに支障があり支援が必要な高齢者や障がいのある方等が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、日常生活の中で起こる軽微な困りごとの解消を、住民参加型による有償の相互支援活動で行う事業の実施に向けて準備をしました。

5. サービス介助士普及事業

今後の高齢化の進行を見据え、サービス介助士を普及することにより、高齢化に対応した人づくり・環境づくりを推進し、また、障がい者にも暮らしやすい環境づくりのため「心のバリアフリー」を推進することを目的に取り組みました。

事業実績	<p>①実技教習検定試験の実施 開催日時：令和2年10月31日（土）～11月1日（日） 開催場所：エコーセンター2000 学習室A～C 受講者数：8名（内社協職員5名）</p> <p>②フォローアップセミナー 新型コロナウイルス感染症予防のため開催を中止</p> <p>③サービス介助士ウイंकルム活動サポート 役員会及び全体会議への出席 ・令和2年5月28日（木）役員会 出席：2名 ・令和2年6月22日（月）全体会議 出席：2名 ・令和2年8月18日（火）全体会議 出席：1名 ・令和2年10月6日（火）全体会議 出席：2名</p>
------	--

6. 地域福祉推進事業

地域の様々な課題や問題を地域で解決していくための事業に対し、助成金を交付することにより、網走市の地域福祉の推進を図ることを目的としています。

No	団体名	事業名	助成決定額
1	網走市立東小学校	藻琴クリーン作戦	20,000円
2	網走市立白鳥台小学校	網走市立白鳥台小学校「心を耕し、学びの種をまく」ボランティア活動	20,000円
3	網走市立西が丘小学校	クリーン作戦Ⅰ	20,000円
4	ハッピー育児サークル ハピ育	子連れで学ぼうハッピー育児講座	30,000円
5	自然保育サークル森のようちえん あばしりてくてく	森のようちえん研修会	40,000円
6	網走ヨガサークル テトテ	子育てリフレッシュヨガ事業	45,200円
7	網走市立第二中学校	向陽ヶ丘病院クリスマスコンサート	12,159円
合 計			187,359円

7. ふれ愛ひろばの開催

国の緊急事態宣言を受けて、実行委員会を书面表決とした結果、中止希望が多数だったため、開催を中止しました。

8. ボランティアセンター事業

網走市のボランティア活動推進のため各種事業に取り組みました。

■ボランティア登録幹旋事業

〔ボランティア登録者数〕

登録区分	会員数						差異
	令和2年3月31日時点			令和3年3月31日現在			
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
個人	62名	160名	222名	62名	170名	232名	10名
団体	273名	652名	925名	309名	702名	1,011名	86名
合計	1,147名			1,243名			96名

〔ボランティア幹旋数〕

実績	派遣回数：23回、活動実人数：37名、活動延べ人数：68名
----	-------------------------------

※令和元年度実績 派遣回数：177回、活動実人数：193名、活動延べ人数：485名

新型コロナウイルス感染症に伴い、定期的な活動や施設慰問活動の停止、出前講座の依頼が減少したことから令和2年度の活動実績は減少しました。

■ボランティア講座「つながろう！講座」

※新型コロナウイルス感染症予防のため中止しました。

（予定内容）ボランティアの役割と必要性を発見～SDGsから考えるまちづくり～

■ヤングボランティア育成事業の開催

若い世代のボランティア活動者の育成及び確保を目的とした研修会等を開催しました。

開催日時	<p>◆第1回（学習）：令和2年9月開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止しました。</p> <p>内 容：紋別市ボラセンJr. との交流事業</p> <p>◆第2回（企画）：令和2年10月25日（日）9：30～12：15</p> <p>◆第3回（実践）：令和2年12月12日（土）9：00～17：30</p> <p>内 容：クリスマス交流会の企画と開催</p> <p>参加者：子ども32名、保護者24名、高校生26名、学校教諭5名 協力者9名、事務局3名</p>
------	---

■ヤングボランティアOBOGの組織化

過去、ヤングボランティア育成事業に参加をした高校卒業生を集めて、ボランティアグループの組織化について協議をしました。

開催日時	令和3年11月20日（金）19：00～	参加者数：7名
------	---------------------	---------

■市民参加促進事業「つながろう！市民誰でも清掃活動」

地域住民が参加しやすい清掃活動を通じて、ボランティア育成を図ることを目的としています。

開催日時	<p>第1回：令和2年 5月16日（土）※緊急事態宣言発令により中止</p> <p>第2回：令和2年 7月18日（土）8：30～10：00 参加者75名</p> <p>第3回：令和2年10月17日（土）8：30～ 9：45 参加者40名</p>
------	--

■ボランティア情報誌「夢ポケット」の発行（偶数月15日発行）

定期的にボランティアの情報を発信するためにボランティア情報誌を発行し、登録ボランティア及び市内公共施設へ郵送しボランティアの推進を図りました。

実績	108号：令和2年 4月15日（水）発行 / 630部発行
	109号：令和2年 6月15日（月）発行 / 630部発行
	110号：令和2年 8月17日（月）発行 / 630部発行
	111号：令和2年10月13日（火）発行 / 630部発行
	112号：令和2年12月18日（金）発行 / 630部発行
	113号：令和3年 2月15日（月）発行 / 630部発行

■お話広場えがおの開催

幅広い世代間の交流、障がいの有無を問わない誰もが気軽に集える場を提供することで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目的としています。

開催日時	◆毎月第2・第4火曜日11：00～15：00 / 網走市総合福祉センター 〔令和2年度実績〕 開催回数：15回 ※4、5、7月は新型コロナウイルス感染症予防のため中止 来場者数：1日平均約25名 運営協力：市民活動サポーター、登録ボランティア（保健師、看護師）
------	--

■市民活動サポーターの設置

網走市社会福祉協議会の事業への協力及びボランティア活動者のサポートとして、市民活動サポーターを設置しています。

内容	市民活動サポーター人数：7名 ①定期ミーティングの開催 毎月第1水曜日11：00～12：00 ②お話広場えがおの運営 ③情報誌夢ポケットの発送準備 他
----	--

■災害ボランティアセンターの設置運営

災害ボランティアセンター設置運営マニュアルを、令和3年度を目途に策定します。策定は、網走市、網走青年会議所、網走市社会福祉協議会における3者協定を協議の場として進めます。また、災害ボランティアコーディネーター養成の研修会に参加しました。

内容	災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修（実践編） 災害ボランティアセンター設置運営訓練 と き：令和2年10月31日 ところ：斜里町 参加者：松野主任
----	---

■東日本大震災復興の狼煙パネル展示（企業との共同企画）

展示場所：大曲郵便局

展示期間：令和3年2月22日～令和3年3月24日まで

■ボランティア活動保険への加入促進

網走市では、市民活動やボランティア活動に携わる「ボランティア登録者」に対して、ボランティア活動保険の掛金を全額助成しており、本会で加入受付事務等を行ないました。

○令和2年度ボランティア保険加入者数（市助成分） 1,246人 掛金1人350円

○保険対応者 1名（ボランティア活動中の転倒事故）

■ボランティア活動に関わる保険加入の受付

- ・ボランティア活動保険【対象：国内における自発かつ無償のボランティア活動】
- ・ボランティア行事用保険【対象：国内で行うボランティア活動に関する各種行事】
- ・福祉サービス総合補償【対象：在宅福祉・地域福祉サービス、介護保険サービス など】
- ・送迎サービス補償【対象：送迎サービス】

9. 子育てサポートセンター事業（受託事業）

育児の援助を「受けたい方（依頼会員）」と「行いたい方（協力会員）」が会員となり、子育てサポートセンターが仲介して会員同士で支え合う援助事業に取り組みました。

■登録会員数

会員区分	会員数		差異
	R2.3.31 時点	R3.3.31 現在	
依頼会員	184名	159名	△25名
協力会員	103名	90名	△13名
両方会員	16名	16名	0名
合計	303名	265名	△38名

■相談件数

年度	件数
平成30年度	390件
令和元年度	489件
令和2年度	420件

■事前打ち合わせ件数

年度	件数
平成30年度	32件
令和元年度	31件
令和2年度	39件

■活動内容集計

活動内容	回数
保育施設等の開始前・終了後の預かり	1
学校開始前・終了後の預かり	0
子どもの病気時の預かり	0
児童館の開始前・終了後の預かり	0
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事等の際の預かり	0
親や他の子どもの通院や検診等の際の預かり	1
保護者の就労や求職の際の預かり	84
買い物や外出の際の預かり	9
預かり援助その他	3
自宅や祖父母宅への送迎	1
保育施設等への送迎	32
病院への送迎	0
習い事への送迎	132
学校への送迎	0
親の職場への送迎	166
送迎援助その他	0
合計（前年度526回）	429

■協力会員講習会

開催日時	第1回：令和2年 5月18日予定 ※緊急事態宣言を受けて中止
	第2回：令和2年 8月18日（火）9：00～16：30 参加者：2名
	第3回：令和2年11月19日（木）※参加者申込みがなかったため中止
	第4回：令和3年 2月19日（金）9：30～17：00 参加者：4名

■会報「あおぞら」発行

実績	第27号（春・夏号）：令和2年6月15日（月）発行 / 600部発行
	第28号（秋・冬号）：令和3年1月15日（金）発行 / 600部発行

■スキルアップ講習会の開催

開催日時	◆第1回：令和2年10月30日（金）10：00～12：00 内容：知っておきたい応急手当！！ 参加者：4名
	◆第2回：※新型コロナウイルス感染症予防のため中止

■新型コロナウイルス感染症対策事業

網走市子育てサポートセンター事業の継続的な事業運営を図ることを目的に、新型コロナウイルス感染症予防に必要な備品及び消耗品を購入し援助活動等に活用しました。

実績	協力会員及び両方会員へ「マスク、手指消毒液、使い捨て手袋」を配布
----	----------------------------------

10. 生活支援体制整備事業（受託事業）

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域ごとに「元気（介護予防）」と「支え合い（生活支援）」を広げることが目的とした「生活支援体制整備事業」を進めています。

■関係団体・機関との連携体制の推進

【第一層協議体の運営：網走市地域福祉会議】

第一層協議体を担う「網走市地域福祉会議」に対し情報提供を行い、より充実した協議ができるよう取り組みました。

内容	とき	場所	出席者数
第1回網走市地域福祉会議 事務担当者会議	令和2年8月 6日	福祉センター	16名
第1回網走市地域福祉会議	令和2年8月31日	福祉センター	18名
第2回網走市地域福祉会議 事務担当者会議	令和3年2月 8日	福祉センター	15名
第2回網走市地域福祉会議	令和3年2月18日	福祉センター	18名

【コーディネーター業務】

第一層コーディネーター業務として、関係機関と連携を図り取り組みを進めました。

取り組み	①お話広場えがおの運営及び相談窓口の開設（3月末現在 15回開設） ②地域ケア会議への参加 1件 ③相談受付 10件（えがお：4件／電話：4件／来館：2件） ④関係機関との情報共有及び連携した対応 ⑤買い物環境への対応（西地区内：コープ移動販売車に関する打合せ等）
------	--

■第二層づくりに向けた地域へのアプローチ

生活支援体制整備事業「第二層の構築」を進めるにあたり、新型コロナウイルス感染症予防対策を踏まえ、地域の関係者等と話し合いを重ね、実情を確認しながら、地域の「自主性」「主体性」等、考え方や取り組みスピードを大切にしながら取り組みを進めました。

No	地区名	構成地域
1	西地区 (大曲・三眺)	<p>西地区協議体の役目を担う「西地区地域活動推進協議会 高齢者部会」の再編成に向け協議を重ね進めてきました。再編成された高齢者部会を中心に話し合いを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 高齢者部会長との打合せ 日時：令和2年6月26日（金） 内容：「生活支援体制整備事業対象地区の整理」等 □ 西地区地域活動推進協議会 高齢者部会に関する打合せ 日時：令和2年9月4日（金） 内容：「再編成された高齢者部会の進め方」等 □ 西地区地域活動推進協議会 第1回高齢者部会（再編成） 日時：令和2年10月21日（水）18：30～ 内容：「高齢者部会組織の説明」「生活支援体制整備事業の説明」等 □ 高齢者部会長との打合せ 日時：令和2年12月17日（木） 内容：「第2回高齢者部会のワークショップ進め方」等 □ 西地区地域活動推進協議会 第2回高齢者部会 日時：令和3年1月15日（金）18：30～ 内容：「地域の魅力と課題の抽出」「取組み課題の決定と進め方の検討」等
2	北地区	<p>北地区では、協議体「みんなでつながろ～や！KITAMACHI未来」が中心となり地域課題の解決に向けた検討や取組みを進めてきたが、令和元年1月末以降話し合いの場を持っていない状況が続いておりました。地区連会長とも協議再開に向けた協議を重ねてきましたが、現状や地区の意向を踏まえ、令和3年1月7日より一時休止を決定し、協議体メンバーへ通知いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 地区連会長との打合せ 日時：令和2年6月29日（月） 内容：「進捗状況報告の掲載記事確認」「今後の進め方」等 □ 地区連会長との打合せ 日時：令和2年8月24日（月） 内容：「協議体再開に向けた検討」等 □ 地区連会長との打合せ 日時：令和2年9月29日（火） 内容：「協議体再開に向けた検討」等 □ 地区連会長との打合せ 日時：令和3年1月7日（木） 内容：「協議体再開に向けた検討（一時休止を決定）」等 □ 協議体メンバーへの連絡 日時：令和3年1月12日（火） 内容：「検討結果の報告（一時休止を決定）」等
3	向陽ヶ丘地区	<p>向陽ヶ丘地区では、「向陽ヶ丘地区協議体」が中心となり課題の見える化の協議を行った。それを踏まえ、令和元年度末に地域課題の解決に向けた話し合いを実施する準備を進めていたが中止となり、それ以降、話し合いの場を持っていない状況が続いていました。令和2年度より、地区連会長等とも協議再開に向けた協議を重ねてきましたが、現状や地区の意向を踏まえ、令和3年1月28日一時休止を決定し、協議体メンバーに連絡を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 地区連会長への状況確認 日時：令和2年5月7日（木） 内容：「地区連の状況確認」等 □ 地区連会長・事務局長との打合せ 日時：令和2年5月22日（金） 内容：「協議体メンバーの変更（名簿確認）」「今後の進め方」等 □ 地区連会長との打合せ

		<p>日時：令和2年9月1日（火） 内容：「地区の状況確認」「今後の進め方」等</p> <p>□地区連会長との打合せ 日時：令和3年1月21日（木） 内容：「今後の進め方（地区内での検討の打診）」等</p> <p>□協議体メンバーへの連絡 日時：令和3年1月22日（金） 内容：「検討結果の報告（一時休止を決定）」等</p>
4	台町地区	<p>台町地区は、令和元年度から令和2年度にかけ、地域の事情により地区連活動が一時休止となっていました。地区連を基盤とした取組みの推進に向け、地区連正副会長とも協議を行い、地区連役員会にて説明の機会をいただきました。</p> <p>□地区連会長との打合せ 日時：令和2年4月10日（金） 内容：「地区の状況確認」「今後の進め方」等</p> <p>□地区連副会長との打合せ 日時：令和2年6月30日（火） 内容：「地区の状況確認」「今後の進め方」等</p> <p>□地区連会長との打合せ 日時：令和3年1月15日（金） 内容：「地区の状況確認」「今後の進め方（役員会で事業説明）」等</p> <p>□地区連役員会への出席 日時：令和3年1月20日（水）15：00～ 内容：「生活支援体制整備事業の説明」「経過説明」「今後の取組みについて」等</p>
5	鉄南地区	<p>鉄南地区は、地区連を基盤に地域の関係者で構成した話し合いの場「5年後の鉄南地区をきずく懇談会」が中心となり地域課題の見える化まで進めていました。地区連会長とも協議を行い令和元年度末から令和2年度9月までは一時休止としたが、状況を見ながら再開し、課題解決に向けた話し合いと取組みを実施しました。</p> <p>□地区連会長との打合せ 日時：令和2年6月29日（月） 内容：「進捗状況報告の掲載記事確認」「今後の進め方」等</p> <p>□地区連会長との打合せ 日時：令和2年8月24日（月） 内容：「協議体の再開」等</p> <p>□第4回 5年後の鉄南地区をきずく懇談会 日時：令和2年10月9日（金）18：00～19：00 内容：「課題解決に向けた話し合いと取組みを考える」</p> <p>□鉄南地区にある社会資源PR用チラシの配布 配布：市広報（12月号）併せて配布 内容：鉄南地区「町内会」「ふれあいの家」「子ども会」のPR 部数：800部</p>
6	呼人地区	<p>呼人地区では、「町内会のあり方検討会」を設立し、そこが中心となり地域課題の解決に向けた取組みを進めている。令和元年度より話し合いを行い、地域課題として地縁組織としての「町内会活動の立直しや強化」が挙げられており、地域住民を巻き込んだ研修会を開催し、それを皮切りに地域内での協議や取組みを進めていく予定で準備を進めていましたが中止となりました。</p> <p>□町内会のあり方検討会 「地縁組織としての町内会を再起動させる手法を探る～高齢化だけが悩みじゃない～ 日時：令和2年4月25日（土）13：30～15：30 ※中止 内容：講演「次代につながる力！地域家族の時代に向けて～誰もが安心して暮らすためには～」</p> <p>□地区連事務局長との打合せ</p>

		<p>日時：令和2年5月27日（水） 内容：「今後の進め方」等</p>
7	東部地区	<p>東部地区では、令和元年度末に実施した東部地区の住民を対象としたニーズ調査アンケート結果を基に、東部地区の関係者にお集まりいただき、地域課題の解決方法の検討を行いました。</p> <p>□地区連会長との打合せ 日時：令和2年5月13日（水） 内容：「アンケート結果の報告」「今後の進め方」等</p> <p>□東部地区アンケート集計結果の送付 発送：令和2年5月18日 ※ご協力いただいた各町内会長・区長に送付</p> <p>□地区連会長・藻琴町内会長との打合せ 日時：令和2年11月6日（金） 内容：「アンケート結果を踏まえた進め方」「話合いの日程調整」等</p> <p>□東部地区「地域の課題解決に向けた話合い」 日時：令和2年12月9日（水）18：00～19：00 内容：「アンケート調査の結果報告」「課題解決に向けた意見交換」「今後の進め方」等</p> <p>□地区連会長との打合せ 日時：令和3年3月29日（月） 内容：「話し合いの意見を踏まえた今後の進め方」等</p>
8	南部地区	<p>南部地区では、令和元年度末に住民を対象としたミニフォーラムを開催し、それを皮切りに話し合いの場づくりを進めていく予定でしたが中止となりました。地区連会長と協議を行い、地域課題の抽出方法を、ワークショップ形式からアンケート調査に切り替え取組みを進めました。アンケート結果を踏まえ、地区連を基盤とした関係者にお集まりいただき、地域課題の解決方法の検討を行いました。</p> <p>□地区連会長との打合せ 日時：令和2年4月15日（水） 内容：「ミニフォーラム延期に伴う今後の進め方（アンケート実施決定）」等</p> <p>□アンケートの協力依頼（南部地区各町内会訪問） 日時：令和2年5月20日（水） 内容：「アンケート内容の説明と依頼」</p> <p>□南部地区アンケート調査の実施 期間：令和2年5月25日～6月26日 配布：6地区（243世帯） ※回収：74世帯（30.45%）</p> <p>□地区連会長と打合せ 日時：令和2年7月16日（木） 内容：「アンケート結果の確認」「今後の進め方」等</p> <p>□南部地区アンケート集計結果の送付 発送：令和2年7月20日 ※ご協力いただいた各町内会長・区長に送付</p> <p>□地区連会長との打合せ 日時：令和2年9月28日（月） 内容：「話し合いの開催に向けた状況確認」等</p> <p>□地区連会長との打合せ 日時：令和2年11月11日（水） 内容：「話し合いの日程調整」「会議内容の検討」等</p> <p>□南部地区「地域の課題解決に向けた話合い」 日時：令和2年12月17日（木）13：30～14：30 内容：「アンケート調査の結果報告」「課題解決に向けた意見交換」「今後の進め方」等</p> <p>□地区連会長との打合せ 日時：令和3年3月29日（月） 内容：「話し合いの意見を踏まえた今後の進め方」等</p>

9	西網走地区	<p>西網走地区では、事業開始の話合いにおいて、1つの地区連として取り組むのではなく、構成する5つの地区単位で進めていくことに決まりました。地域課題の抽出が未着手だった「卯原内地区」を対象にアンケート調査を実施しました。</p> <p>□卯原内地区アンケート調査の実施 期間：令和2年4月25日～5月29日 配布：卯原内地区（200世帯） ※回収：30世帯（15%）</p> <p>□卯原内地区アンケート集計結果の送付 発送：令和2年7月10日 ※ご協力いただいた各町内会長・区長に送付</p>
10	桂町地区	<p>桂町地区では、桂町住民センター運営委員会が中心となり事業に取り組むことで決定。令和元年度末、ミニフォーラムを実施し、それを皮切りに取組みを進める予定であったが中止となった。再開に向け協議を行い、事業説明と聞き取り調査の場を設定いただきました。</p> <p>□桂町地区連事務局長との打合せ 日時：令和2年9月28日（月） 内容：「ミニフォーラム延期に伴う今後の進め方」等</p> <p>□桂町地区合同防災研修 日時：令和2年10月31日（土）10:00～12:30 内容：「防災研修」「生活支援体制整備事業の説明」</p> <p>□桂町地区連事務局長との打合せ 日時：令和2年12月2日（水） 内容：「ふれあいの家での事業説明と協力依頼」「聞き取り調査の実施」等</p> <p>□桂町ふれあいの家訪問 日時：令和2年12月19日（土）9:30～12:30 内容：「生活支援体制整備事業の説明」「ニーズ調査（聞き取り）」</p>
11	鱒浦地区	<p>鱒浦地区では、地区連を中心に取組みを進められないか継続的に打診を行ってきた。しかし、地区連の会議や事業等、全てが休止している状況のため現段階では取り組むことができないため待つほしいとの回答がありました。今後も継続的に相談をさせていただくこととします。</p> <p>□地区会長との打合せ 日時：令和2年6月18日（木） 内容：「地区連の状況確認」「取組み実施の打診」等</p> <p>□地区会長との打合せ 日時：令和2年9月1日（火） 内容：「地区連の状況確認」「取組み実施の打診」等</p> <p>□地区会長との打合せ 日時：令和3年1月29日（金） 内容：「地区連の状況確認」「取組み実施の打診」等</p>
12	南東・南西地区	<p>南東地区では、令和元年度末に事業説明会を実施し取組みを進めていく予定であったが、現段階では取組みが進んでいない状況にあります。</p>
		<p>南西地区では、令和元年度末にミニフォーラムを実施し、事業の取組みを進めていく予定であったが中止となり取組みが進んでいない状況にあります。</p>
13	潮見地区	<p>潮見地区では、地域の実情を踏まえ2つのエリアで進めます。</p>
		<p>潮見地区では、令和元年度末にミニフォーラムを開催し、それを皮切りに事業の取組みを進めていく予定であったが中止となりました。再開に向け関係者と進め方等の協議を重ねた結果、協議体設立を行い、そこが主体となり事業推進に向けた協議や準備を進めることになりました。</p> <p>□地区連会長との打合せ 日時：令和2年6月30日（火） 内容：「ミニフォーラム延期に伴う今後の進め方」等</p>

		<ul style="list-style-type: none"> □地区連事務局長との打合せ 日時：令和2年7月6日（月） 内容：「今後の進め方」等 □地区関係者との打合せ 日時：令和2年9月7日（月）15：30～ 内容：「コロナを踏まえた今後の取組み方（仕切り直し）」等 □地区関係機関への事業説明と協力依頼（潮見老人クラブ） 日時：令和2年10月5日（月）10：00～ 内容：「生活支援体制整備事業の説明」「協力依頼」等 □地区関係機関への事業説明と協力依頼（第3民協） 日時：令和2年11月11日（水）18：30～ 内容：「生活支援体制整備事業の説明」「協力依頼」等 □地区関係者との打合せ 日時：令和2年11月27日（月）10：00～ 内容：「潮見地区協議体設立」「今後の進め方」等 □地区関係機関への事業説明と協力依頼（ふれあいの家すまいる、ふれあい水曜会） 日時：令和2年12月2日（水） 内容：「生活支援体制整備事業の説明」「協力依頼」等 □地区関係機関への事業説明と協力依頼（八潮寿友クラブ） 日時：令和2年12月9日（水） 内容：「生活支援体制整備事業の説明」「協力依頼」等 □第1回協議体 日時：令和3年2月9日（火）18：00～ 内容：「今後の進め方」等 □第2回協議体 日時：令和3年3月16日（火）18：00～ 内容：「潮見地区住民を対象としたアンケート調査の実施方法の検討」等
	潮見ヶ丘地区	<p>潮見ヶ丘地区では、地域の要望も踏まえ関係者との協議の結果、潮見ヶ丘地区として取組みを進めることとなりました。地区の会議や事業等が休止、役員体制も整っていない状況から体制づくりの時間が必要とのご意見をいただきました。今後も継続的に相談をさせていただくこととします。</p> <ul style="list-style-type: none"> □町内会関係者との打合せ 日時：令和2年4月28日（火） 内容：「潮見ヶ丘地区の状況確認」「取組みの打診」等 □町内会関係者との打合せ 日時：令和2年7月13日（月） 内容：「潮見ヶ丘地区の進捗状況の確認」「取組みの打診」等 □老人クラブ・民生委員関係者からの問い合わせ 日時：令和2年8月17日（月） 内容：「生活支援体制整備事業の概要」「進め方について」「協議体について」等
14	つくしヶ丘地区	<p>つくしヶ丘地区では、令和元年度末に認知症講演会の開催し、その中で高齢者の取組みとして生活支援体制整備事業も一体的に進めていく予定であったが中止となりました。再開に向けた協議を行ってきたが、地区連の役員改選も重なったため、新体制決定後、仕切り直して事業説明から行うこととなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> □地区連事務局長との打合せ 日時：令和2年4月10日（金） 内容：「認知症講演会延期に伴う地区連の取組み」「今後の進め方」等 □地区連事務局長との打合せ 日時：令和2年6月18日（木）

		<p>内容：「今後の進め方（役員体制の変更に伴う調整）」等</p> <p>□地区連事務局長との打合せ 日時：令和2年10月15日（木） 内容：「地区連役員会への参加」「説明内容と進め方」等</p> <p>□つくしヶ丘地区連役員会 日時：令和2年11月2日（月）18：00～ 内容：「生活支援体制整備事業の説明」「経過説明」「意見交換」等</p>
15	駒場地区	<p>駒場地区については、前回打診した際に「現段階では事業の必要性を感じない」とのご意見をいただき取組みを進められていません。今後も根気強く継続して交渉を続けていくこととします。</p>
16	天都山地区	<p>天都山地区では、地区連役員会を協議体に位置付け、取組みを進めている。事業説明を行い、その後、ワークショップ形式で「地域の魅力と課題の見える化」を実施。その中で出た課題解決に向け取組みを進めています。</p> <p>□天都山地区連役員会（協議体） 日時：令和2年6月24日（水）18：30～ 内容：「生活支援体制整備事業の説明」「他地域の取組み紹介」「意見交換」等</p> <p>□天都山地区連役員会（協議体） 日時：令和2年9月23日（水）18：30～ 内容：「地域の魅力と課題の見える化」「取組み課題の決定」「意見交換」等</p>
17	新町地区	<p>新町地区は、当初、西地区に属していたが「地区連を基盤」「地域性」も踏まえ新町地区として進めることとなり、地区連会長へ取組みへの打診を行いました。</p> <p>□地区連会長との打合せ 日時：令和2年6月26日（金）11：30～ 内容：「生活支援体制整備事業の説明」「他地域の取組み紹介」「取組みの打診」等</p>

■事業周知

事業	内容
社協ホームページ掲載	生活支援体制整備事業のリニューアル（進捗状況の報告掲載）
社協Facebook掲載	取組み内容を随時掲載
社協広報紙ふれ愛めーる掲載	第113号、第114号に掲載
事業進捗状況報告の全戸配布	生活支援体制整備事業の進捗状況の報告
出前講座による市民周知	市民後見人養成講座にて事業内容説明
FMあばしりでの周知	社協のほっと便のお知らせにおいて事業周知

■エリア圏域別の基礎情報の収集

第二層協議体設立に向けた取組みを進める上で、地域の把握を目的に、基礎情報の収集を行い地域アセスメントにまとめている。

取組み方法	<p>第二層づくりの取組みを進めるにあたり、地域の基礎情報の収集を行い、網走市と連携し「地域アセスメントシート」を作成。</p> <p>※「地域アセスメント」は、取組みを進めている地域毎に随時作成。</p>
活用方法	第二層の取組みを進めるにあたり、地域の基礎情報の共有ができるよう提供した。

■高齢者社会参加マップの作成

実施	（仮称）「高齢者お役立ちマップ」作成事業（令和3年度中に完成）
経過	生活する上で役立つ情報や社会参加の情報などを掲載した冊子及びホームページ内にマップ作成し掲載する。
開催日	<p>* 第1回作成会議：令和2年12月21日（月）13：30～</p> <p>* 第2回作成会議：令和3年 3月12日（水）10：00～</p>

委員構成	地域福祉会議 事務担当者会議のメンバーの中から構成。
協議内容	「(仮称) 高齢者お役立ちマップ」掲載内容の検討 「生活に役立つ情報」「相談の場」「運動・健康づくり」「社会参加・集いの場」

11. 買い物リハビリ事業（受託事業）

要支援者を対象に身体機能の維持向上や脳の活性化を図ることを目的として市内商業施設を活用した買い物リハビリ事業に取り組みました。

実績	実施日時：毎週水曜日・木曜日 13:20～14:30 ※曜日によって利用者が固定
	受託内容：利用者の送迎（社協デイサービス車輛使用） 事業実績：水曜日実績・利用者5名（延べ参加者数85名） 協力ボランティア2～3名（延べ協力者数58名） 木曜日実績・利用者5名（延べ参加者数97名） 協力ボランティア2～3名（延べ協力者数77名）

II. 相談支援事業の推進

1. 生活困窮者相談支援

(1) 生活困窮者自立相談支援事業の受託運営

当事業は平成26年度から受託しており、令和2年度新規の相談件数は58件でした。相談内容は多岐に渡っていますが、家計に関する相談が増加し、特に新型コロナウイルスによる家計への影響に関する相談が目立っています。また、就労、家族問題に係る相談も見られています。

	新規相談内容											計
	家計	負債	就労	教育	健康	介護	近隣 トラブル	ひき こも り	住居	家族 問題	その 他	
平成30年度	30	5	6	3	2	1	3	1	3	4	1	59
令和元年度	28	5	4	2	2	1	1	0	4	4	5	56
令和2年度	46	0	4	0	0	2	0	0	2	4	0	58

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により休業等で収入が減少した世帯への貸付事業の受託運営（北海道社会福祉協議会貸付）

- ①緊急小口資金貸付実績 91件 16,200,000円（前年度2件 300,000円）
- ②総合支援資金貸付実績 57件 26,634,000円（前年度0件）

(3) 生活福祉資金及び総合支援資金貸付事業の受託運営（北海道社会福祉協議会貸付）

- ①緊急小口資金貸付実績 1件 100,000円（前年度0件）
- ②福祉資金貸付実績 1件 163,000円（前年度0件）
- ③教育資金貸付実績 2件 4,654,000円（前年度2件 2,244,000円）

(4) 福祉援護資金貸付事業の実施

- ①福祉援護資金貸付実績 26件 353,000円
令和2年度より生活費緊急支援資金とボランティア援護資金は統合されました。
- ※令和元年度 生活費緊急支援資金貸付実績 3件 90,000円
- 令和元年度 ボランティア援護資金貸付実績 22件 312,000円

2. 権利擁護

(1) 成年後見相談支援事業の受託運営

○市民後見人支援活動

市民後見人連絡会議を開催し、担当ケースの支援について情報交換、意見交換しました。

○市民後見人養成研修の開催

日 程：令和2年11月5日、12日、19日、21日、28日、
12月5日、12日、19日（全8回）

参加者：20名 ※うち市民後見人登録者：19名

○市民後見人フォローアップ研修会の開催

開催日	内容	参加者数
10月14日	やさしい相続と遺言	6名
11月11日	施設見学（シニアハイツはまなす） 今後の高齢者福祉のありかた	6名
2月10日	お葬式から相続まで	24名
3月10日	施設入所について	18名

○相談支援事業

相談件数61件（前年度75件）

相談内容内訳（複数回答）

相談内容	制度概要	申立手続	金銭管理	財産管理・処分	その他	合計
件数	11	19	14	9	8	61

○運営協議会の開催

回数	開催日	主な案件・協議事項
第1回	6月18日	・新規申立て案件に係る後見人等候補者推薦について ・成年後見相談支援事業 事業報告・収支状況について、事業計画・予算について
第2回	3月22日	・令和3年度事業計画・予算案について、運営協議会委員の選任について他

(2) 日常生活自立支援事業の受託運営（道社協委託事業）

福祉サービス利用援助事業として業務を行ない、当年度で5年目を迎えました。

○契約者数

年度開始時契約者数	新規契約	年度末時契約者数
4名	1名	5名

○自立生活支援員登録者数 5名（令和3年3月31日現在）

○生活支援員研修の実施 令和2年12月（レポートの提出） 参加者数：2名

3. その他

(1) 災害見舞金の支給

歳末たすけあい募金の助成金を財源に、火災による被災者に対して見舞金を支給する事業を行ないました。

支給実績：火災1件・対象3件80,000円（前年3件、50,000円）

(2) 身体障がい者生活器具給付事業の実施（ストーマ等）

行政制度にない隙間の部分を補完することを目的として実施しています。

給付実績：ストーマ12件（前年度11件）1人 10,000円（合計120,000円）

Ⅲ. 在宅福祉事業の推進

(1) 指定訪問介護事業所の経営

○訪問介護事業、訪問型サービス事業（第1号訪問介護）

サービス提供実績（延訪問数）

介護度 年総計	事業 対象	要支援		要 介 護					計	1日 平均	平均 介護 度
		1	2	1	2	3	4	5			
30	1,124	612	796	1,623	1,724	1,170	783	153	7,985	21.9	1.9
31	888	605	874	1,994	1,860	853	1,242	4	8,320	22.7	1.9
令和2	887	552	977	1,001	2,065	1,026	1,170	5	7,683	21.0	2.0

○障がい者福祉サービス事業（指定居宅介護、移動支援サービス事業）

サービス提供実績

年度	延訪問数（回）	1日平均（回）
平成30年度	1,041	2.9
平成31年度	1,418	3.9
令和2年度	1,612	4.4

○令和2年11月12日 オホーツク総合振興局(指定権者)による実地指導 文書指導なし

(2) 指定地域密着型通所介護事業所の経営

○地域密着型通所介護事業、通所型サービス事業（第1号通所介護）

サービス提供実績（延人員）

介護度 年総計	事業 対象	要支援		要 介 護					計	1日 平均	平均 介護 度
		1	2	1	2	3	4	5			
平成30年度	799	196	536	839	651	385	358	70	3,834	15.0	1.8
平成31年度	649	228	444	607	827	577	217	90	3,639	14.2	1.9
令和2年度	750	212	556	552	669	479	236	66	3,520	13.8	1.8

○コロナ過や通所系事業所の増加といった要因で利用が減少し新規受入れも難渋しました。

○網走市老人デイサービスセンターの施設について、指定管者理制度に基づく管理業務を行いました。

(3) 指定共同生活援助(外部サービス利用型)の経営

○「グループホーム ひまわり」サービス管理責任者を中心に適切に運営を行ないました。

サービス提供実績 ※現入居者6名（入居定員7名）

年度	延利用日数 (日)	平均利用者数 (人)
平成30年度	2,472	6.77
平成31年度	2,559	6.99
令和2年度	2,179	5.97

○ミーティングの実施

期日	参加者	内容
毎週金曜日	入居者、関係者	参加者それぞれの生活状況の確認や助言等を行う。

○世話人の質の向上を図り、入居者のニーズを踏まえた自立支援の提供に努めました。

- 内部研修を実施しました。
- 年2回の避難訓練を実施しました。
- 令和2年11月12日 オホーツク総合振興局(指定権者)による実地指導 文書指導なし

(4) 受託事業

- 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業の受託運営（シルバーハウジング事業）
生活援助員による生活相談など日常生活援助を行いました。入居数 23世帯 (R3.3.31現在)
利用者のニーズを踏まえた生活指導に努めました。
- 家族介護者交流事業（家族介護者リフレッシュのつどい）
コロナ禍によって開催が危ぶまれましたが、参加定員を半減し、マスクの着用、手洗い、手指の消毒、3密の回避、ソーシャルディスタンスを徹底して開催しました。

期日	場所	参加者
11月14日	総合福祉センター	30人（家族11、要介護者1、コスモス会6、社協6、包括2、市4）

IV. 法人運営事業の推進

1. 社協事業

役職員等が本会の「経営理念」を常に念頭に置き、この理念に基づく事業の推進を図りました。

(1) 理事会・評議員会の定例開催等

安定した事業経営や業務の円滑な執行に資するために、理事会等を開催しました。

また、社会福祉法人制度改革により必置となった評議員会を適時開催し、事業運営の透明性の向上に努めました。

月日	名 称	主 な 案 件	出席者
5月25日	決算監査会	平成31年度決算監査	監事2名
6月5日	第1回理事会	平成31年度事業報告について、平成31年度収支決算報告について、平成31年度監査報告について、定時評議員会の招集事項について	書面決議
6月17日	第1回評議員会	平成31年度事業報告について、平成31年度収支決算報告について、平成31年度監査報告について	書面決議
9月15日	第1回監査会	総務課の業務執行状況について、会計について	監事2名
9月24日	第2回理事会	経営分析報告について、会務報告について、監査報告について、第7期地域福祉実践計画策定進捗状況について、網走市社会福祉協議会会長表彰について、住民活動及び福祉活動拠点支援事業助成について	理事13名 監事2名
12月10日	第3回理事会	会務報告について、職員の業績考課制度について、本会のコロナウイルス感染症対策について、就業規則の一部改正について、住民活動及び福祉活動拠点支援事業助成（二次募集分）について、苦情解決対応に係る第三者委員の選任について	理事12名 監事1名
12月15日	第2回監査会	在宅福祉課の業務執行状況、上半期の運営状況について	監事2名
3月16日	第4回理事会	会務報告、監査報告、就業規則・給与規程等の一部改正、第7期地域福祉実践計画の策定について、網走市福祉バス運行要綱の一部改正について、ちよこっとお手伝い事業の開始について、令和2年度補正予算案、令和3年度事業計画案、令和3年度収支予算案、評議員選任・解任委員の選任について、令和2年度第2回評議員会の開催について	理事10名 監事2名
3月18日	第3回監査会	地域福祉事業の実施状況、令和2年度決算見込み	監事2名
3月25日	第2回評議員会	令和2年度補正予算案について、令和3年度事業計画案について、令和3年度収支予算案について	評議員10名他

(2) 役員研修、会議等の参加

月日	事業名	会場	参加者
7月29日	市町村社協関係事業検討委員会（道社協主催）	ZOOM会議	山中課長
9月16日	市町村社協関係事業検討委員会（道社協主催）	ZOOM会議	山中課長
9月23日	全道市町村社協事務局長連絡会議	札幌市	山崎事務局長
10月26日	市町村社協関係事業検討委員会（道社協主催）	ZOOM会議	山中課長
12月9日	市町村社協関係事業検討委員会（道社協主催）	ZOOM会議	山中課長
3月5日	オホーツク管内市町村社協会長事務局長研修会	エコセンター	鬼塚会長、山崎局長

(3) 永年役員・評議員功労者の表彰（社協会長表彰）

社会福祉事業の推進に寄与された方に対して、その功績を称えて顕彰致しました。

役員等表彰	柿本 弘之
-------	-------

1名（敬称略・順不同）

(4) 地域福祉事業功労者の表彰（社協会長表彰）

社会福祉事業の推進に寄与された方に対して、その功績を称えて顕彰しました。

永年ボランティア活動	及川セツ子、大川原藤子、林幸子、伊藤美夜子、大野恵美子 佐々木都志子、松岡美紀子
------------	---

7名（敬称略・順不同）

(5) 情報開示

①社協情報紙「ふれ愛めーる」を全戸配布しました。

発行日	機関紙名	付記
7月20日	ふれ愛めーる第113号	全戸配布
3月20日	ふれ愛めーる第114号	全戸配布

②事業計画、事業報告、収支予算、収支決算を機関紙及びホームページに掲載しました。

③FMあばしりにて月1回「社協のほっと便」を放送しました。（毎月第1木曜日）

④ホームページの更新およびFacebookを新設（令和2年9月新設）しました。

(6) 経営基盤の強化

①社会福祉充実残額の算定と計画立案の可否確認

社会福祉充実残額算定の結果、計画立案の必要がありませんでした。

②中期財政計画の検討（職員処遇改善費、退職金積立、事業人件費、固定資産等更新）
当初の計画どおり、退職金等を積立てました。

③会員会費制度の整備充実

○会員会費実績

年度	一般会員	特別会員	賛助会員	合計
30	1,143,700円	376,000円	678,500円	2,198,200円
31	1,120,300円	378,000円	675,500円	2,155,800円
R2	1,108,500円	389,000円	676,500円	2,174,000円

④共同募金配分金等の寄付金による事業の適正な実施

赤い羽根共同募金助成金および歳末たすけあい募金を活用して事業を実施しました。

○赤い羽根共同募金助成金 812,599円（うち、40,000円返還）

内容 広報啓発事業（ふれ愛めーる発行費用） 772,599円

ふれあいクリスマスパーティ支援事業 40,000円（返還）

○歳末たすけあい募金助成金 1,279,497円

内容

	事業名	金額	備考
1	ボランティアセンター運営事業	480,000円	
2	地域福祉推進事業	150,000円	
3	被災者世帯見舞金贈呈事業	220,000円	
4	住民活動及び福祉活動拠点支援事業	200,000円	
5	日常生活のちょこっとお手伝い事業	64,497円	
6	ふれ愛ひろば網走開催事業	90,000円	全額返還
7	事務経費（共同募金会へ）	75,000円	

○北海道共同募金会による赤い羽根共同募金助成車両（日産セレナ）が納車されました。

助成額：1,598,000円（車両本体価格・経費合計2,389,240円）

納車式：令和2年7月31日 正副会長出席

⑤高額寄付者への感謝状贈呈（社協会長顕彰） 令和2年度 2件

⑥生命保険協会北見協会より助成いただき車両（トヨタピクシス）を購入しました。

助成額：518,894円（車両本体価格・経費合計1,273,894円）

納車式：令和2年11月12日 正副会長出席

⑦職員処遇改善計画の維持管理に努めました。

⑧各福祉団体への支援を行ないました。 ※寄附金による当事者団体等への助成

(7) 法令遵守の徹底

(8) 備品貸出事業

地域福祉の推進を目的として、地域の行事やイベントで活用可能な備品の貸し出しを行ないました。

前年度は34件の貸し出しがありました。当年度はイベントの中止により減少しましたが、会議や講習会等で使用する備品の貸し出し等が増加しました。

○利用実績

件数	主な貸出備品／利用者
26	プロジェクター・スクリーン、ワイヤレスマイク・アンプ／ふれあいの家、団体

(9) 事務局体制の整備

①事務局会議を定例開催しました。

②事業内容・規模に応じた職員体制の確保に努めました。

③職員の資質向上のため職員研修の強化に努めました。（介護福祉士等の資格取得）

④事務・事業執行の連携強化に努めました。

⑤独自研修を開催しました。

月日	研修名	研修内容	出席者数
4月15日	ホームヘルパー内部研修	感染症予防の対策について	ホームヘルパー等10名
6月25日	自衛消防訓練	通報訓練、避難訓練、消火訓練	本部施設職員等47名
7月 8日	ホームヘルパー内部研修	緊急事態発生時の対応方法について	ホームヘルパー等14名
9月18日	グループホーム内部研修	プライバシーの保護について	GH世話人等4名
10月 7日	ホームヘルパー内部研修	ヘルパーとして知っておきたい新型コロナウイルス感染症対策	ホームヘルパー等14名
10月30日	グループホーム内部研修	感染症・食中毒予防について	GH世話人等4名
11月16日	自衛消防訓練	通報訓練、避難訓練、消化訓練	本部施設職員等42名
12月 9日	ホームヘルパー内部研修	ウイルスを持ち込まない、受け取らない感染症対策	ホームヘルパー等14名
12月23日	ホームヘルパー内部研修	基本理念	ホームヘルパー等13名

1月20日	ホームヘルパー内部研修	ホームヘルパーが出来る事、出来ない事	ホームヘルパー等15名
2月16日	職員研修	ゴミ分別Q&A	職員30名

⑥各種研修会等に参加しました。

月日	内 容	場 所	参加者
8月19日	総務・労務管理研修	札幌市	庭山係長
8月26日	介護従事者雇用管理セミナー	北見市	金野課長
10月 1日	安全運転管理者講習会	セントラルH	金野課長
10月 3日	サービス提供責任者資質向上研修「ヘルパーとして知っておきたい新型コロナウイルス感染症対策」	旭川市	藤谷
10月 7日	エルダー・メンター制度導入支援研修	北見市	松野主任
10月31日	災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修（実践編） 災害ボランティアセンター設置運営訓練	斜里町	松野主任
11月 4日	生活支援コーディネーター養成研修（応用編）	北見市	山中課長
11月12日 ～13日	防火管理者（甲種）講習会	エコセンター	松野主任
12月 4日	生活支援コーディネーター連絡会議	ZOOM	山中課長
12月 4日	集団指導（動画視聴） 訪問介護、居宅介護、通所介護、共同生活援助	動画視聴	高橋係長、寺中 相談員、松野
12月12日	普通救命講習	消防署南出張所	高橋係長ほか
3月20日	社会福祉士実習指導者講習会	ZOOM	庭山係長

2. 受託事業

(1) 網走市総合福祉センターの指定管理受託

駐車場が狭いという課題はありますが、指定管理者制度に基づき管理者として、適切に管理しました。

当年度は、国の緊急事態宣言（令和2年4月16日～5月24日）を受けて部屋の貸し出しを中止したほか、新型コロナウイルス感染症予防のために外出を控えた方が多かったため、利用者数が大幅に減少しました。

なお管理にあたっては、利用者の検温を実施した他、消毒液の設置や、部屋の使用後の消毒作業を徹底する等、感染症予防に努めました。

項 目		30年度	31年度	R2年度
団 体	団体数	651	688	493
	人 数	8,193	8,843	5,233
個 人	老 人	6,008	5,728	5,023
	母 子	15	5	0
	身 障	4,313	3,093	1,841
	精神障がい等	231	233	224
	小 計	10,567	9,059	7,088
合 計		18,760	17,902	12,321

○事業等

事業名	日にち	内容
福祉センター感謝祭	中止	(新型コロナウイルス感染症予防のため)
利用者調整会議	中止	(新型コロナウイルス感染症予防のため)
消防訓練 (避難・通報・消火訓練)	6月25日 11月16日	網走市老人デイサービスセンター、網走市子ども発達支援センターと合同で実施

(2) 網走市老人デイサービスセンターの指定管理受託

(3) 網走市福祉バス運行管理事業の受託

項目	30年度	31年度	R2年度
運行回数	98	83	12
利用人員	2,263	1,952	222

○網走市福祉バスが29年ぶりに更新され、お披露目されました。

と き：令和3年3月12日

ところ：網走市総合福祉センター前

立 会：市、社協（正副会長等）、福祉団体（老連、民連、ふまねっと他）

(4) 団体事務の運営

各団体役員および構成員との連携を図り、事務等について適切に行ないました。

(●印は市からの業務委託団体)

1	●網走市町内会連合会	6	網走市暴力追放推進協議会
2	●網走市老人クラブ連合会	7	●網走市連合遺族会
3	●網走地区防犯協会	8	●網走市身体障害者福祉協会
4	網走地区暴力追放推進協議会	9	●くるみ里親会網走支部
5	●網走市防犯協会	10	網走市共同募金委員会

V. 第7期地域福祉実践計画の策定

第6期地域福祉実践計画が令和2年度をもって計画期間満了となることから、令和3年度を始期とする第7期地域福祉実践計画を策定しました。

■策定委員会の開催

開催日時	◆第1回：令和2年7月31日（金）18：00～18：40 出席者：策定委員10名、オブザーバー3名、社協正副会長3名、事務局5名
	◆第2回：令和2年9月30日（水）18：00～18：50 出席者：策定委員8名、オブザーバー3名、事務局5名
	◆第3回：令和3年2月18日（木）18：00～ 出席者：策定委員8名、オブザーバー3名、事務局5名
	◆第4回：令和3年3月9日（火）18：00～ 出席者：策定委員7名、オブザーバー2名、事務局5名

■策定部会の開催

開催日時	◆第1回：令和2年9月7日（月）13：30～15：30 出席者：策定部会員3名、事務局3名
	◆第2回：令和3年1月15日（金）14：00～15：30 出席者：策定部会員3名、事務局3名

■第7期地域福祉実践計画作成

製本版	発行部数：200部 配布先：計画策定委員会委員、社協役員、管内社協、市内相談支援機関 他
概要版	発行部数：300部 配布先：市内公共施設